

八王子市市民活動支援センター

平成30年度事業報告

八王子市市民活動支援センター

はじめに

八王子市は平成30年度、「次の100年に向けた、豊かな地域資源を活かしたまちづくり」や「子供を生き育てやすい環境づくり」そして「地域で生涯活躍でき、安全・安心に暮らせる環境の確保」などの方針を出すとともに、八王子の魅力を市内外へ広く発信すべく、ブランドメッセージも市民の総選挙で選ばれました。こうした動きの成果は行政だけでは生み出せません。市民や多様な市民活動団体の地域課題への取り組みがあって初めて生み出されるものと考えています。今年度も、様々なセクターが補完、連携し合いながら、シンポジウムの開催や地域を包括的に支える仕組みへの取り組みがなされ、その目指す社会、地域づくりを進める動きがありました。

こうした中、八王子市市民活動支援センターは、社会貢献、地域活動の担い手である市民の方々の地域参加のきっかけづくりや、市民活動団体の、特に基盤強化や信頼性、継続性をサポートする事業を具体的な計画に基づいて実施してきました。これらの実績を基に、今後とも市民力、地域力向上に資すべく多様なニーズに応える事業を推進してまいります。

1. 各会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一同に会したセンター会議を開催しました。会議の目的は支援センターの利用状況確認、各部活動報告及び予算執行状況の確認とともに業務全体及び各部門の課題や取り組みについて検討・意見交換を行い、課題の共有化、解決策の検討等です。

さらに、部門間の連携を深め、支援センターの総合力を高めるため、毎月、部長会を開催するとともに、多様な視点を取り入れた会議としました。

評価と課題

常勤、非常勤混在の勤務体制のため、スタッフ同士の連携、情報共有は不可欠で、会議内容が報告や確認が多くなるのを避けるため、事前に資料を配布し、貴重な時間をできるだけ討議を通じて、ニーズに対応したサービス向上やセンタースタッフのレベルアップに役立てることを心掛けました。

2. 情報セキュリティ委員会

様々な実施事業をとおして市民や団体から、利用目的を明らかにしてお預かりしている個人情報適切に管理し、紛失、改ざん及び漏えい等の事故を起こさないことは、関係市民、団体との信頼関係の基本であり、また、八王子市の施設として市に準じる情報管理が求められていると認識し、その適切な管理に取り組んでいます。

評価と課題

法令や情報セキュリティマニュアルを遵守し、組織内のPDCAを回し、適正な情報管理に努めるとともに、可能な限り八王子市の指定管理者情報セキュリティーガイドラインに沿った管理を進めています。さらに、今年度は、東京都や八王子市の指定管理施設に対するセキュリティーレベルがさらにアップし、マニュアルの見直しやサーバーの変更が必要となりました。

3. NPOの基盤強化支援の充実

団体の基盤強化や信頼性の向上による市民活動の活性化、社会的認知の向上など、その自立支援のため、団体運営の基本（ミッションの明確化、運営、情報発信、会計）等、実務的内容で「NPOパワーアップ講座」を実施しました。また、ファンド事業では引き続き情報開示を基本的条件として、寄贈を受けた物品を無償提供し、団体の資金負担軽減をサポートすることができました。さらに、団体運営の伴走支援として、ノウハウやスキルを生かして地域参加、社会貢献を考えている人材とサポートを希望する団体とのマッチング事業である「人財支援事業」では、東京

都保健局主催の「東京ホームタウンプロジェクト・プロボノ 1 day チャレンジ」に 2 団体の協力を得て参加することができました。

評価と課題

「NPOパワーアップ講座」は、今回、団体が見失いがちなビジョン、ミッションについて改めて考える講座を取り入れ活動の原点を見つめなおしてもらいました。今回は、支援センタースタッフも全員参加し、支援センター事業のビジョン、ミッションを再確認・共有する機会とすることが出来ました。また、「人財支援事業」はさらなる「人財」の登録促進と、支援メニューの開発が課題となっています。

4. 調査研究活動

市民活動に関する多様な相談に対応すると共に、効果的なサービスを提供するためには社会環境の課題やNPO、市民活動の実態把握が大変重要であり、スタッフが外部イベントや講習会等へ参加しスタッフのレベルアップに努めました。また、今年度も利用満足度調査を実施するとともに、企業の社会貢献活動（寄付への視点、社員の地域参加等）についての意向調査を目的に、民間企業約 50 社にアンケートを実施しました。

評価と課題

利用満足度調査の結果は、引き続き「満足」、「やや満足」で 97.6%の評価を頂きました。その他、「会議室はもっと広いスペースが欲しい」、「会議室の椅子はもっと座り心地が良いものにして欲しい」等の要望もありましたが、予算措置のこともあり、八王子市との協議も含め今後検討したい。

企業へのアンケート調査は、回収率が 24%と十分ではありませんでしたが、市民活動の透明性が引き続き求められていること、企業の地域参加はまだ多くの課題があることを感じさせるものでした。結果を参考に、市民活動と企業との関係構築、連携を探る足掛かりや相談業務にも生かしていきます。

5. 八王子市環境マネジメントシステムへの取り組み

八王子市役所環境マネジメントシステムは、それぞれの組織や事業が環境配慮行動に取り組むということで、引き続き支援センター内でも基本的な環境配慮行動を行うとともに、支援センターの特性である団体の活動や広報サポートを通して環境マネジメントに取り組みました。

評価と課題

環境活動に取り組む団体の活動紹介・情報発信をサポートすると共に、多様な団体が、環境の持続的保全を意識し、住み続けたいまちづくりにつながる活動が活性化することが必要と考えています。また、引き続き企業や団体等の未利用の様々な物品を寄贈いただき、市民活動団体にリユースしていただく「資源の有効活用」としてのファンド事業も推進していきます。

6. 施設利用状況

交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	メール相談
945	787	3,263	354	261	52	455	20	2,384	2
968	789	3,205	483	201	79	965	53	2,952	7

上段：平成 30 年度、下段：平成 29 年度 *添付資料参照：「平成 30 年度施設・会議室利用状況報告」

評価と課題

今年度、フリースペースと事務スペースのレイアウト変更を行い、窓側にフリースペースを配置し、簡単な打合せ、待ち合わせなど多くの方に気軽に利用して頂き好評をいただき利用者も増加しましたが、会議室の利用数が若干減少しました。センターへの登録や利用促進をさらに図っていきたいと思います。相談は電話等に加え専門相談やファンド部の「人財」による伴走支援に加え、試験的に日時・テーマを設定した相談日を設ける等多様な形で対応しました。

7. 「指定管理者制度」モニタリング実施結果

結果は「事業計画の水準を満たしている」という“B”評価でした。評価コメントは高い満足度を維持し、「満足」、「やや満足」が96.2%を占めるなど、多くの市民、団体に満足度の高いサービスの提供やファンド事業での「人財支援」で具体的な成果を出すとともに、「はちコミねっと」の運営にあたり、団体への操作講習会の実施や団体からの情報発信の確認・承認作業など適切な管理運営に努めたとの内容でした。また、近郊の中間支援施設への訪問から得た知識やノウハウを本市市民活動支援センターにマッチした取組に発展させ、市民活動団体の更なる基盤強化及び活動の活性化につながる取組みへの期待が示されました。

8. 総務部の活動

(1) 相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方のもとスタッフ全員で対応しています。専門相談は NPO 経営支援アドバイザー派遣制度の活用やNPO法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

評価と課題

面談、電話、メール等による相談内容は、地域を包括的に支える仕組みづくりが求められる中、居場所づくり、子ども食堂、コミュニティカフェなどに取組もうとする方々からの資金や場所探しに関する相談などがあったことや、引き続き団体法人化の相談も継続しています。窓口相談業務を一步進めた伴走支援事業でもあるファンド事業の「人財」支援も実績を上げており、今後とも相談対応の手法の多様化、スタッフのスキルアップに取り組んでいきます。

(2) スタッフ外部研修（人材育成）

5月22日認知症サポーター養成講座参加 /6月26、27日初任者研修参加：日本NPOセンター主催 /9月19日「第10回共生の街づくりシンポジウム」事前学習会参加 /10月5日ハラメント講習会参加 /10月16日障害者に対する知識、理解を深めるための職員研修出席 /11月22、23日市民セクター全国会議2018参加 /11月23、24日ライトハウス「子ども支援セミナーin東京」子どもを性の商品化から守るに参加

評価と課題

相談対応やコーディネート力向上、効果的な講座開設を目的に、スタッフのスキルや知識の習得のほか、講座や講師との出会いを積極的に進めました。こうした知見を多様なセンター事業に生かしていきます。

(3) 対外対応

4月度

4月3日コーユーレンティア（株）来館対応 /4月7日創価大学お花見交流カフェ参加 /4月9日指定管理者八王子市民活動協議会と意見交換会開催 /4月13日H29年度八王子市期末モニタリング対応 /4月14日はちおうじ志民塾0B会出席 /4月21日Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会定例会出席

5月度

5月12日八王子市民活動協議会総会出席 /5月17日「第6回開け！センター元気」出席(主催：センター元気)出席 /八王子市土地利用計画課来館対応 /5月18日八王子市協働推進課訪問 /5月19日「あしたの森植樹祭」出席(主催：緑サポート八王子) /5月22日認知症サポーター養成講座参加 /コミュニティカフェ「みんなの家」見学

6月度

6月8日地域福祉推進策定委員会出席 /6月14日ファルマ802防災会議出席 /6月25日(社福)由木かたくりの会評議委員会出席 /6月26日、27日初任者研修会出席 /6月29日梶田中学校生徒3名来館対応(職場体験事前訪問)

7月度

7月5日八王子市市民参加推進審議会出席 /7月10日～12日梶田中学校生徒3名職場体験対応 /7月12日協働推進課訪問打ち合わせ /7月12日自主避難訓練実施 /7月18日モニタリング対応 /7月19日地域参加支援に関する情報連絡会 /7月20日八王子市地域福祉推進計画策定委員会地域福祉推進部会出席 /7月27日八王子市地域福祉推進計画策定委員会出席 /7月29日はちおうじ志民塾プレ講座出席 /7月29日八王子市犬目町古民家『暖炉』イベ

ント出席

8月度

8月2日7市・市民活動連絡会出席 /8月17日地域福祉推進計画策定委員会地域福祉推進部
会出席 /8月21日八王子市包括外部監査対応 /8月22日大学生インターシップ実習生受け
入れ対応 /8月25日井戸端サロン出席(八王子市民活動協議会主催) /8月29日八王子観
光コンベンション協会、熊沢書店訪問

9月度

9月8日はちおうじ志民塾第10期入塾式出席 /9月11日鏈水中学校生徒来館対応 /9月12
日消防設備点検来館対応 /9月13日協働推進課打ち合わせ訪問 /9月13日八王子地域福祉
推進策定委員会地域福祉推進部会出席 /9月15日オトパ(南大沢)出展参加 /9月19日第
10回共助の街づくりシンポジウム事前学習会参加/協働推進課打ち合わせ訪問/~9月21日
職場体験受け入れ対応(鏈水中学生徒3名) /9月24日みんなの居場所「暖炉」第1回ワー
クショップ参加 /9月27日防火対象物点検来館対応 /9月28日八王子地域福祉推進計画策定
委員会出席

10月度

10月5日ハラスメント講習会出席(八王子市民活動協議会主催) /10月14日ボランティア
400人の集い参加 /10月15日障害者に対する知識、理解を深めるための研修出席(八王子市
主催)/八王子市市民参加推進審議会出席 /10月18日八王子市地域福祉推進計画策定委員
会地域福祉推進部会出席(社協) /10月25日フードバンク八王子「パーティ&パーティ」
参加 /10月30日協働推進課来館対応

11月度

11月8日802ビル合同防災訓練参加 /11月14日八大緑遊会(緑サポート八王子)芋煮会参
加 /11月17日、18日いちよう祭り参加 /11月19日多摩信用金庫本店訪問 /11月20
日オリンピック・パラリンピック八王子市推進室来館対応 /11月21日西武信用金庫八王子
支店訪問 /11月22日市民参加推進審議会答申手交式出席/~23民セクター全国会議2018
出席 /11月23日、24日ライトハウス「子ども支援セミナーin東京」(子どもを性の商品化
から守るには)に参加 /11月23日、29日八王子市土地利用計画課懇談会出席 /11月30日
地域福祉推進計画策定委員会出席

12月度

12月1日「子どもの未来・大人の責任」フォーラム参加 /12月8日三鷹市市民協働センター開設
15周年記念式典出席 /12月14日財政援助団体等監査事務局来館対応 /12月10日(社福)由
木かたくりの会評議委員会出席 /12月19日八王子市行財政改革部情報管理課来館対応

1月度

1月4日八王子市関係部署、八王子商工会議所、センター元気、八王子ボランティアセンター、西
武信金八王子支店訪問 /1月9日薬剤センター訪問 /1月12日第10期志民塾講師派遣 /1月
17日モニタリング対応 /1月21日第7回シニアが元気になるフェスティバル出席 /1月22日
地域参加支援に関する情報交換会出席 /1月26日八王子市民活動協議会新年交流会出席 /1月
30日創価大学岩川ゼミ学生来館対応 /1月31日7市・市民活動連絡会出席

2月度

2月1日地域福祉推進計画策定委員会出席 /法政大学多摩シンポジウム×地域交流 DAY2018 出席
/2月5日前田建設工業(株)ICI 総合センター訪問 /日中央大学シンポジウム出席 /2月9日
第12回お手玉遊び競技大会出席 /市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2019 /2月
16日犬目町「暖炉」ワークショップ出席 /2月20日地域に根ざす中間支援組織スタッフのための
支援力アップ塾ステップアップ編出席 /2月20日堀之内地域「オコジュ」の集まり出席

3月度

3月18日(社福)由木かたくりの会評議委員会出席 /3月22日「古い展」主催:山崎亮に出席

評価と課題

支援センターは、スタッフが、来館の方々に必要な対応をすると同時に窓口や電話対応だ
けでなく、積極的に現場に足を運び、様々な方々や団体との交流により、ネットワークづく
りや連携、協働の基礎づくりを進め、コーディネート力向上や支援センター認知度、総合力

アップに取り組みます。

(4) 施設内備品の整備

利用者のサービス向上やスタッフ事務の効率化のため各種備品等を購入しました。

評価と課題

今後とも、予算措置を施しながら、市民や団体の活動の場、交流の場、作業の場としての機能充実を図るとともに、スタッフ事務の効率化を推進していきます。

(5) 図書・資料の充実

市民活動の情報センターとして様々な書籍、資料を配架し、閲覧、貸し出しを通して活動や研究の参考にいただいておりますが、今年度も延べ76冊の書籍の購入や寄贈を受け、図書コーナーに配架しました。主な書籍は下記のとおりです。

『ティール組織』 / 『NPO・市民活動のための応募ガイド』 / 『NPOガイドブック』 / 『幸福学』・『共感力』 / 万引き依存症 / 『まちの子どもソーシャルワーク』 / 『BLUE HERAT』 / 『NPOガイドブック』 / 『マインドフルネス』

評価と課題

今後とも予算措置を施しながら、ニーズや社会背景に対応した図書・資料をそろえ、市民活動の情報センターとしての機能を果たしていきます。

9. 広報部の活動

広報部は、ただ市民活動団体の活動を市民の方々に紹介するだけでなく、社会を取り巻く様々な課題をタイムリーにとらえて、そうした活動の中から市民や多様なセクターが、気付きや連携の糸口を得、まちづくりや地域参加のための市民力、地域力向上に貢献できることも大きなねらいの一つとして広報紙「Support802」を中心に情報発信を行っています。

(1) 広報紙 SUPPORT802 について

活動内容

- ・ 84号、85号では「学生と地域の関わり」を連続テーマに据え、後編となる85号では啓発部との連携で座談会を実施し、それを記事として構成。学生の地域活動に対する本音を引き出すことができました。また、大学コンソーシアム八王子にも全面的に協力をいただき、1つの連携モデルとして形作りました。
- ・ 87号では「NPO法20年」を特集記事に取り上げ、マクロな視点で市民活動の情勢を発信するとともに、八王子地域の団体がNPO法について感じている率直な印象を引き出すことを目指しました。
- ・ 88号、89号では、団体からの相談をもとに、啓発部の「アクティブ市民塾」と連動する形で記事を構成。アクティブ市民塾に登場する団体を広報紙の特集記事としてまとめ、翌月に実施したアクティブ市民塾に連動する流れをつくりました。

評価と課題

- ・ 広報部員全員がそれぞれに出来ることで積極的に役割を担い、部の雰囲気は良好であると考えています。但し、スケジュール調整が難しい場面が多く、サポートスタッフも含めて揃わない中で部会や読み合わせを行わざるを得ない場面が時折ありました。
- ・ 紙面製作上、作業するパソコンによってWORDの原稿の表示が異なるケースがあり、特に画像のレイアウトが大きく崩れる現象が度々見受けられました。WORDのバージョンの違いによるものではないことが確認されており、情報部にもアドバイスを求めたものの、具体的な原因究明には至っていません。

(2) メールマガジン八王子市民活動支援センターSUPPORT802 だよりについて

活動内容

掲載内容は、「巻頭言」、「アクティブ市民塾」、「助成金情報」、「イベント情報」、支援センター、八王子市民活動協議会、八王子市からの情報を毎月初めに発信しています。特に、「巻頭言」では、その時々タイムリーな話題や、広報紙SUPPORT802と連動するなど個別の情報発信にとどまらず、興味を持って読んでいただく入口の言葉として位置付けています。

また、個人では入手しにくい市外の多様な活動も知っていただくことで、個人や団体の活動の幅を広げていただくことも期待しています。

評価と課題

広報紙 3、4 面で掲載している助成金情報は、メールマガジンとの棲み分けを行うことで、広報紙の紙面構成を考える上である種の割り切りができるなど、広報紙との連動を考慮しながらコンテンツ作成を進めています。一方、メールマガジンというメディアそのものが、どの程度情報発信の面で有効なのか、効果測定を行うことも課題です。(特に Facebook ページとの棲み分けについて)

(3) 発信情報のチェック体制

活動内容

スタッフ、サポートスタッフの意見を反映しながら、紙面レイアウトを考え、作成しました。

評価と課題

連絡体制をサイボウズ Office に段階的に移行しましたが、サポートスタッフの基本操作習熟に特段問題はなく、スムーズな運用が図れていると考えます。

広報部員以外にも、簡単な校正をセンター内で回覧することで、チェック体制を強化することは、検討の余地があると考えています。

【資料】

広報紙 SUPPORT802 発行部数、配布先

1 回につき 5,000 部、隔月で年 6 回発行（従来通り毎回奇数月の 1 日に発行）

- ・広報紙 SUPPORT802 発行部数

発行号数	発行部数	発行日	配布先
第 84 号	5,000 部	平成 30 年 5 月 1 日	センター登録団体、協議会会員、市の公共施設、市内各駅の広報スタンド、中間支援団体、市内 NPO 法人、配布希望町会・自治会 その他（八王子町会自治会連合会、八王子老人クラブ連合会、八王子センター元気、八王子レクリエーション協会、紙面掲載団体、他）
第 85 号	5,000 部	平成 30 年 7 月 1 日	
第 86 号	5,000 部	平成 30 年 9 月 1 日	
第 87 号	5,000 部	平成 30 年 11 月 1 日	
第 88 号	5,000 部	平成 30 年 1 月 1 日	
第 89 号	5,000 部	平成 30 年 3 月 1 日	北原国際病院、西武信用金庫八王子支店、檜原支店、北野支店、多摩信用金庫京王八王子支店

- ・広報紙 SUPPORT802 主な配布先と配布件数

発行 号数 配布先	発行					
	第 84 号 30. 5. 1	第 85 号 30. 7. 1	第 86 号 30. 9. 1	第 87 号 30. 11. 1	第 88 号 31. 1. 1	第 89 号 31. 3. 1
センター登録団体	286+ 21(重)	286+ 21(重)	299+ 24(重)	304+ 24(重)	309+ 23(重)	309+ 23(重)
協議会会員(団・個)	103+17	103+17	101+17	101+16	101+15	101+15
市の公共施設	86	86	86	86	86	86
駅の広報スタンド	16	16	16	16	16	16
中間支援団体	56	56	56	56	56	56
市内 NPO 法人	170	170	170	166	166	166
配布希望町会・自治会	6	6	6	6	6	6
その他	13	13	13	13	13	13
特別配布 (アクティブ用)	1	1	1	1	1	1
合計	784	784	789	789	792	792

メールマガジン八王子市市民活動支援センター SUPPORT802 発信数

- ・メールマガジン件数

配信日	4/1	5/1	6/1	7/3	8/3	9/3	10/2	11/1	12/1	1/4	2/1	3/1
配信号数/ 配信先 号	111 号	112 号	113 号	114 号	115 号	116 号	117 号	118 号	119 号	120 号	121 号	122 号
合計	445	449	450	452	453	460	462	463	525	528	536	543

10. 啓発部の活動

今年度も団体活動のステップアップを狙ったパワーアップ講座をはじめとした支援講座や市民の方に市民活動を知っていただくためのアクティブ市民塾など、多角的に市民活動を周知するためのプログラムを実施することができました。

平成 30 年度のセンターの重点項目のひとつである支援センターの認知度をあげることについても、「アクティブ市民塾」や実践講座と通じて貢献できました。

(1) アクティブ市民塾

活動内容

月日	分野	団体名	タイトル	定員	申込人数	参加人数
6月29日(金)	情報	地域 ICT 利活用研究会	ここがポイント!ネットを使いこなすための安全対策	12	33 ※1	18
8月17日(金) ※2	子ども	西緑地科学クラブ	おやつを科学する ～酒まんじゅう作り～	親子 12 組	64 組 149 名 ※2	9 組 19 名
9月2日(日)	福祉	ぶなの会	安心して思いを分かち合う場を体験する ～ひきこもり対話交流会体験～	20 名	17 名	14 名
9月15日(土)	健康	八王子地域活動栄養士会	時短!簡単!おいしい!レパートリーが広がる常備菜・保存食を使ったアレンジ料理を作る	16 名	8 名	7 名
11月25日(日)	健康	プラチナクラブ	保健医療学博士がすすめる健康寿命を延ばす転倒予防トレーニング体験	16 名	36 名 ※3	22 名
2月3日(日)	福祉	八王子自助具工房フレンズ	趣味が他人の役に立つ!物作りが好きな方必見!自助具を知る、作る、体験する!	16 名	29 名 ※4	25 名
合計 6 回開催						105 (161)

※1: 抽選はなし。締切後の申し込みのため、お断りした人数を含みます。

※2: 台風接近のため当初予定していた 7/28 は中止。その後、講師団体、会場など調整のうえ、8/17 (金) に振替実施を決定。7/28 参加予定者のみに連絡して実施しました。

※3: 抽選実施

※4: 会場のレイアウト変更等により申込者全員を受け入れ、抽選なし。

※5: 合計の () は昨年度の合計参加人数

評価と課題

今年度から定員の少ない講座については「広報はちおうじ」に掲載する際の条件として、定員を上回る申込があった場合は抽選を行うことになりました。6 回開催のうち 4 回は定員を上回る申込をいただき、2 回は抽選を実施しました。申込方法や抽選結果のお知らせ方法など試行錯誤の 1 年でしたが、来年度も多数の申込をしていただけるよう団体の魅力的な側面に焦点を当てた講座を企画していきます。

(2) 実践講座 1

活動内容

月日	タイトル	講師	定員	参加人数
7月1日(日)	NPO 法人設立の基礎	認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事 関口宏聡さん	50	53

評

価と課題

定員を上回る方に参加していただき市民の NPO 法人についての関心の高さに応えることができました。NPO という言葉だけは聞いたことがある市民がその意味を正しく理解する、任意団体が活動の継続や強化を図るために法人化を目指すきっかけとなる講座を提供することができました。来年度も市民が社会貢献活動に関心をもつきっかけとなるような講座を企画していきます。

(3) 支援講座 1

活動実績

開催日	テーマ	講師	定員	参加人数
4月8日(日) 13:00~14:30 15:00~16:30	改正NPO法対応定款変更 徹底解説セミナー	認定NPO法人シーズ・市民活動を 支える制度をつくる会 代表理事関口宏聡さん	20名	1回目 14団体18名 2回目 8団体9名
※申込多数のため2回実施			計	22団体27名

評価と課題

今年度は、10月に改正NPO法が全面施行されることに伴い定款変更が必要となったため、NPO法人向けに注意喚起と実際の対応方法を知らせるために講座を実施しました。全面施行から逆算し、新年度早々の開催となりましたが、定員以上の反響があり2回に分けて実施しました。この内容は支援センターならではの講座であり、法人団体にとって効果的な講座となりました。

(4) 支援講座 2 (NPO パワーアップ講座)

活動内容

	開催日	タイトル	講師	会場	参加人数
1	8月10日(金) 13:30~16:30	団体のビジョンとミッションを明確にする	長浜洋二さん(モジ ョコンサルティング 合同会社代表)	クリエイトホール 第2学習室	29名 (11名) ※1
2	8月24日(金) 13:30~16:30	活動目的とロジックモデル (目的を達成するための 設計図)の作り方1	長浜洋二さん(モジ ョコンサルティング 合同会社代表)	クリエイトホール 第7学習室	31名 (10名)
3	9月14日(金) 13:30~16:30	活動目的とロジックモデル (目的を達成するための 設計図)の作り方2	長浜洋二さん(モジ ョコンサルティング 合同会社代表)	クリエイトホール 第2学習室	30名 (10名)
4	10月12日(金) 13:30~16:30	団体運営の基本1	長田英史さん(NPO 法人れんげ舎代表理 事)	学園都市センター 第5セミナー室	24名 (5名)
5	11月9日(金) 13:30~16:30	団体運営の基本2	長田英史さん(NPO 法人れんげ舎代表理 事)	学園都市センター 第5セミナー室	27名 (5名)
6	12月9日(日) 13:30~16:30	NPOの広報と地域メディアの 活用	長田英史さん(NPO 法人れんげ舎代表理 事)	クリエイトホール 第2学習室	35名 (6名)
7	1月20日(日) 13:30~16:30	人が集まる講座とチラシの 作り方	坂田静香さん(NPO 法人男女共同参画お おた理事長)	クリエイトホール 第2学習室	52名 (4名)
8	2月17日(日) 13:30~16:30	NPOを支えるお金1 ~資金調達入門と会員制度・ 寄付~	小堀悠さん(NPO法 人NPOサポートセン ター事務局長)	学園都市センター 第5セミナー室	29名 (3名)
9	3月10日(日) 13:30~16:30	NPOを支えるお金2 ~助成金~	小堀悠さん(NPO法 人NPOサポートセン ター事務局長)	学園都市センター 第5セミナー室	21名 (3名)

※1 () 内はセンタースタッフの参加人数

評価と課題

今年度も 11 団体に連続受講をしていただきました。活動目的をテーマとした講座については、パワーアップ講座の中で団体内のディスカッションができるように 3 回にわたりじっくりと実施しました。その結果、各団体が成果物を作成することができ、受講団体にも好評でした。

また、パワーアップ講座をセンターの研修として位置付け、センタースタッフ全員で支援センターのビジョンやミッションを検討することもできました。来年度も団体の組織基盤強化を目指して講座を企画します。

(5) 支援講座 3

活動内容

(1) 交流会：6 月 6 日（水）18：30～20：30

テーマ	日程	会場	備考
学生と地域のつながり	6/6（水）	八王子市市民活動支援センター	広報部と共催 市内学生同士の交流会

※参加学生は、八王子学生委員会 5 名、創価大学オックスファムクラブ（国際協力団体）1 名。

評価と課題

広報部との共催により、支援センターでは馴染みの少ない学生を対象とした交流会を実施することができました。SUPPORT802 の連載企画の第 2 弾としての開催であったこともあり、今回は広報部主導で実施しました。支援センターの総合力を発揮するために今後も他部との共催を進め、企画のはじめから積極的に参画していきたいと考えます。

1 1. 情報部の活動

(1) インターネットにおける情報発信システムの構築

インターネットにおける情報発信システムとして、八王子コミュニティ活動応援サイトはちコミねっとと、支援センターの情報を発信する支援センターホームページ、それを補完する Facebook ページと Twitter を運用しています。

平成 30 年度は支援センターホームページの脆弱性をなくすべく、サーバー移転および SSL 化の対応を行い、インターネット上の情報発信において、市民が安全に充実した市民活動情報を得られる仕組みを構築しました。

(2) センター内 ICT 環境の整備

支援センター内の情報共有、情報伝達を効率化するため、またセキュアな環境でそれらが行えるようにするため、グループウェアのサイボウズ Office を導入しました。スタッフのスケジュール調整、出勤管理、会議資料の共有などの業務で大幅な効率化を行いました。

また、故障や性能問題を抱えていたスタッフ PC 8 台の修理および性能面での整備を行い、新たに PC を買い替えることなく経費節減することが出来ました。Windows7 機の Windows10 化も合わせて進めています。さらに、センター内 Wifi のセキュリティ脆弱性に対応するため、業者選定と市のガイドラインへの整合性を検討しました。

評価と課題

サイボウズ Office の導入により、スタッフのワークスタイルが変わり、密な情報共有ができるようになったと考えます。また保有パソコンは低スペックなものが多く、業務効率化の妨げになり、団体の苦情の原因になっていましたが、設定の見直し、SSD 換装などの強化で新たにパソコンを購入せずに運用可能となりました。これから Windows7 問題、Office2010 問題なども控えており、なるべくコストをかけない ICT 環境の整備を進めていきます。ただ、同様の問題は登録している市民活動団体も抱えていますので、支援センターが手本となるべく率先してトライし、手法を啓蒙していく必要性があります。市民活動団体の IT リテラシーを向上させるのも支援センターの大きな業務になってきていると思います。

(3) 市からの指導および要望事項への対応

ネットセキュリティアラート J-LIS 情報に対応するとともに、関係スタッフへの啓もう教育を実施しました。

(4) 支援センターホームページの維持・更新

- 1) 八王子市から稼働するサーバーの OS およびミドルウェアの脆弱性が指摘されたため、安全性の高いサーバーへ移転を行いました。併せて通信の盗聴および改竄に対応するため SSL 化しました。またメールサーバーの移転も実施しました。サーバー移転に関しては、市民への影響を最小限にする移行手順を策定し、メール不達の現象が発生した以外は大きな問題もなく移行できました。また、これまで使っていた愛称「さぼーと 802」の表記を分かりやすい「八王子市民活動支援センター」に変更しました。

評価と課題

昨年度の大幅リニューアル改造と今年度のサーバー移転に伴う改良を重ねることにより、一定の完成度レベルまで到達したと考えられます。今後は急増するスマホユーザー向けのモバイルサイト構築が最大の課題ですが、構築費用が必要なこと及び連携するはちコミねっとがモバイルサイト非対応なため、当面、はちコミねっとが次期バージョンでモバイル対応するのに合わせて実施するのが最適と思われます。

(5) はちコミねっとの活性化

- 1) 継続して団体向け操作法講習会を毎月実施しました。しかしパソコンに不慣れな団体も見受けられることから、センタースタッフがマンツーマンで操作方法を教え、情報をアップするところまで付き添う団体向け個別操作法講習会を計画外でしたが月 1 回の頻度で開催しました。
- 2) 登録団体数も順調に増え 417 団体となりました。今年度は 49 団体を登録し 5 団体が登録削除となりました。メルマガ会員数は 608 人です。1 年間で約 730 の団体からの情報（コンテンツ）を掲載承認しました。
- 3) 運用で発生した問題の解消や改造要望などを契約当事者である八王子市とパーソルワークスデザイン株式会社とともに継続して対応を検討し、いくつかの改善を実現できました。

評価と課題

はちコミねっとのようなクラウドベースでユーザカスタマイズが可能なシステムにおいては、なかなか不具合の修正や機能追加は実現しませんが、粘り強い交渉でかなりの改善を施せたと考えています。今年度は予算の関係で実現できませんでしたが、講座およびイベントの参加申込フォームの効果が高いため、将来は是非とも実現したい機能と考えています。はちコミねっとのベースとなる「元気 3 6 5 システム」が利用者ニーズに十分対応できないシステムになっているため、次期バージョンがリリースされる際にはモバイルサイト対応を含め、積極的にユーザ要望を出していく必要があります。

(6) Facebook と Twitter の活用

Facebook ははちコミねっとのメルマガの転載、センター主催のイベントの告知、講座やイベントの実施報告などで活用しました。Twitter は主に若者向けのアクティブ市民塾の告知とはちコミねっと関連の講座の案内に活用しました。

評価と課題

Facebook を利用している市民への告知効果はある程度求められたが、本格稼働するにはやはり Facebook 広告まで出さないと、十分な訴求はしないと思われます。また Twitter は様々な内容を含む講座関連の告知には向いておらず、アクティブ市民塾の実施団体と連携した Facebook や Twitter の運用も必要と思われ、今後の課題となりました。計画していた Facebook の認証マークは取れましたが、Twitter の認証マーク取得は Twitter が申請を閉鎖しており、達成できませんでした。

1 2. ファンド部活動

I 全体評価

(1) 物品支援

当初危惧していた寄附申し出の減少については、実績ある企業をはじめとし市内の企業・団体・個人から寄附していただき、頒布会などを通じてスタートアップ団体、レイアウト変更予定の団体等に什器類を提供することができました。これまでの企業訪問の結果が今年度の寄附に結び付いた事例もあり、継続した企業訪問の必要性を実感しました。

(2) 人財支援：

昨年に続き、認定NPO法人サービスグラントとの助言・指導を受け知識・ノウハウの習得に努めました。

- 1) プロボノ1Dayチャレンジに2団体及びプロボノワーカー3名が参加、支援センターはオブザーブを担い、プロジェクト進行ノウハウを習得できました。中でも、知識・技術・スキルを超えて社会貢献意識の高いプロボノワーカーの素顔に触れたことは今後のプロボノワーカーの発掘・確保のポイントと感じました。プロボノ1Dayチャレンジに参加したIT系の2名の方に登録していただくことが出来ました。期首から進めていた、カシオ労働組合との協働は、先方事情（職長異動）により中断しました。

後任の書記長からは、4月以降にできる範囲で地域貢献、プロボノ人財支援等について協力していきたいとのことで、今後可能性を検討していきます。

- 2) プロボノ説明会講演等、説明会を開催し、約50名に参加していただきました。
- 3) 成果発表会は見送りました。次年度のプロボノ説明会で実施の予定です。
- 4) 支援団体：

- ①プロボノ支援団体募集・プロボノワーカー募集・物品提供案内のタイミングに合わせファン部レポート（不定期）を4回発行しました。
- ②相談事業をはじめ、センターの他の事業との連携については、直接人財支援に結び付く事例はありませんでしたが今後とも継続していきます。

(3) CANPAN登録・更新支援

登録更新説明会を中心に新規登録5団体、更新2団体をサポートしました。この結果、ゆめおりファン登録団体は昨年度51団体から55団体に増加しました。団体情報開示レベル★★★は昨年度7団体から10団体に増加しました。

(4) 規定類、帳票類の継続的見直し。

(5) 広報活動

1) 企業アンケート

50企業を対象にアンケート調査をした結果、

- ・地域社会活動を支援している企業は61%その他社会参加している企業は8%、両者合わせて7割弱の企業が何らかの形で社会貢献に関心を持っていることがわかりました。
- ・また、最近解禁されつつある社員等の兼業・副業については推奨すると答えた企業が30%とまだ少ないが、人生100年時代へ向かう中、今後増えてくると思われます。
- ・兼業・副業を推奨している企業は、変化するためにはイノベーション創出が不可欠で、その源にある多様性を引き出すためにも社外での経験が必要になると考えていることがわかりました。
- ・企業の寄付を含めた社会貢献の前提として、団体活動の信頼性を担保するための情報開示は不可欠であると考えていることも明確になりました。

- 2) ファン部レポート：ゆめおりファン登録団体のみならず未参加の団体に対し、支援のタイミングに合わせた以下各号のテーマの情報提供ができました。

- ①H30.7.1：CANPANについて／物品の支援の流れ／最近の物品支援の活用状況／人財支援について（「プロボノ査閲明快：NPO・団体のお困りごと解決！！」
- ②H30.9.1：「東京ホームタウンプロジェクト1dayチャレンジ」参加決定／ボードマッチ計画／プロボノ@八王子2018説明会／物品支援
- ③H30.11.1：「東京ホームタウンプロジェクト・プロボノ1dayチャレンジ2018」／物品支援／ゆめおりファンに登録しませんか！
- ④H31.1.1：「プロボノワーカー情報交換会」報告／プロボノ@八王子2018（中期：11月～2月）課題を募集中！！/ゆめおりファンに登録しませんか／企業アンケート行いました

(6) 団体・企業・大学訪問

- 1) 団体訪問は12回、団体来館打合16回（プロボノ）、企業訪問20件（含サービスグラント、プロボノ大会参加等）、大学訪問3件

II. 物品支援

活動内容

寄付：コーユーレンティア(株)の仲介、数年前にPR活動で訪問した企業、ロコミからの医療関係、2度目の大学、団体、個人からと多岐にわたって寄付いただきました。
提供：テーブル、椅子、PC、事務用品、家電製品、インテリア、食器、ノートなどをサロンめじろ台、川口ブラボークラブ、高尾山とんとん昔話語り部の会、八王子わんのにゃんクラブなど多様な団体への物品提供ができました。ベネッセ子供基金がノート寄附の情報に対応すべく、ゆめおりファンド事業のプレゼン資料を送付したところ、1000冊のノートを寄附いただき、子供食堂、福祉施設等に提供できました。大学からWINDOWS 7 PCを寄附いただき全数提供いたしました。

寄付・提供件数

寄付件数は15件(平均10.8回) 提供件数は33件(平均27.4件)

寄付・提供数量

寄付数量は368(平均286) 提供数量247(平均223)

評価と課題

新規寄付元企業開拓、寄付実績のある企業への広報活動ができなかったこと、また、物品提供後の利活用報告書を十分回収できなかったこと、団体の物品ニーズに十分応えることができなかったこと等が反省点として挙げられます。

そうしたことから、次年度から、訪問先を絞り込んだ年間計画を立案実行するとともに、寄付者への説明責任を果たすため、利活用報告書を含めセンター広報誌、ファンド部レポートなど定期的に送付し情報提供に努めます。

また、団体のニーズに十分対応するには、企業からだけでなく市民からの寄付も必要となりますが、個々の市民からの提供にどこまで対応でききるかや品質確認、所有権移転、事故対応、廃棄物対応方法、誤用を避けるための製品仕様書の確保など検討すべき課題があります。

Ⅲ. 人財支援

活動内容

(1) プロボノ説明会

- ・基調報告：「プロボノとは」認定NPO法人サービスグラント代表理事 嵯峨生馬さん
- ・事例発表：団体：「緑サポート」、「八王子猫のおうち探しの会」、「エコショップ元気広場」
プロボノワーカー：中村さん 企業：カシオ労働組合書記長

準備・広報活動

「団体向け」チラシ、「ワーカー向け」チラシを作成し、市の機関をはじめ、企業への郵送(19社) ネット媒体も活用しました。

ネット：Peatix、支援センターHP、はちコミねっと他

新聞：よみっこ、朝日マリオン、もしもし新聞などに掲載

大学：創価大、首都大

メール：既プロボノ登録者や志民塾OBへの配信

(2) 「東京ホームタウンプロジェクト1dayチャレンジ」

1) 応募団体

11団体を対象に応募是非を検討し、次の2団体に内定、サービスグラントに申請書を提出しました。

① NPO法人かたつむり、課題は会員管理 ②サーカス、課題はSNSの利活用環境整備

2) 「プロボノ@八王子2018説明会」は7月7日に開催し、参加者合計44名(うち一般の団体14、発表者7名、スタッフ6名)

3) ワーカー確保

登録ワーカー24名を中心にワーカーを募りましたが、結果は3名でした。そこで、サービスグラントに協力を頂いき八王子登録ワーカー3名を加えた混成チーム編成での対応も必要となりました。具体的には、「NPO法人かたつむり」は支援センター・プロボノワーカー登録者3名に加えサービスグラント登録者から2名、「サーカス」は全員サービスグラント登録者7名でチームが編成されプロジェクトをすすめました。

4) 事前オリエンテーション

「NPO法人かたつむり」、「サーカス」を含め13団体、プロボノワーカー約80名が参加

しました。主催者は東京都福祉保健局、事務局は認定 NPO 法人サービスグラントですが、支援センターも協力団体として評価していただき、八王子市市民活動支援センターの認知度向上にも寄与することが出来ました。

5) 成果物納品

全体の成果報告会でプロボノワーカー約 60 名が発表し、いずれも充実感を訴えた素晴らしい内容でした。NPO 法人かたつむり、サーカスの参加はもとより、支援センタースタッフも 3 名が参加のほか、八王子市協働推進課とサービスグラントにオブザーブしていただきました。

6) 振り返り

参加者に対して後日連絡をできるような工夫が必要 / 体験談発表に時間がかかりすぎる / 束縛時間や交通費などワーカーの負担も含め検討が必要 / 説明する必要がある / 会場配置の工夫 / 相談時間をしっかりと確保などに課題を感じました。

ワーカーのスキル・積極性・協調性・責任感の 4 拍子が揃ったプロボノであり、事務局運営でも多くのものを学ぶことが出来ました。また、今回得られた成果物の中には、他の団体にも参考となるものがあり、将来に繋がる可能性の多い多いプロジェクトでした。

(3) 中期プロボノ

1) 支援候補団体

「東京パイロットクラブ (HP 作成)」と「NPO 法人異文化健康支援センター (HP 作成)」の 2 団体から支援依頼を受けました。その他、「NPO 法人なみき福祉会」と「NPO 法人難病ネットワーク」も検討しましたが、結果として「東京パイロットクラブ」となりました。その他、「八王子わん♡にゃんクラブ」から HP 制作支援依頼があり、現在、ワードプレスによる HP 制作中です。

(4) プロボノワーカー情報交換会

人財支援事業の活性化、プロボノワーカーの参加意欲の向上等を目的に今年度も八王子市協働推進課の参加も得て情報交換会を開催しました。

IV. 団体情報開示の支援

5 団体が新規登録し、2 団体が解散し登録抹消し現在 54 団体となっています
川ロブラボークラブ／高尾山とんとんむかし話語り部の会／高尾山の花名さがし隊／NPO 法人ヘルシーライフプロモーション／八王子わん♡にゃんクラブ

(登録抹消：NPO 法人ひざしひろば／NPO 法人ライフステージ s t・こころ)

また、CANPAN 登録・更新説明会を下期に 6 回予定し、申込団体ゼロもあったので実際は 4 回実施、参加団体は 6 団体でした。CANPAN 情報開示レベル★★★以上は 8 団体でした。

協議会新年交流会 (1 月 26 日) で、社会福祉法人露の会、一般社団法人チャイルドライフ、スペシャルオリンピックス日本・東京の 3 団体に「ゆめおりファンド認証盾」を贈呈しました。

評価と課題

登録中の団体でも精査すれば活動中止中の団体がある可能性もあり、今後、確認が必要と考えています。また、CANPAN 登録・更新説明会の参加者が少ない。 / CANPAN 情報開示レベル★★★以上が増えない等の課題について今後とも引き続き問題点を整理し、検討を加えていきます。

以上